大豆調達方針

2022 年 8 月 26 日制定

■方針構成

１．前文
２．コミットメント
　2-1 森林破壊
　2-2 生物多様性
　2-3 気候変動
　2-4 人権尊重
　2-5 法令遵守
３．方針
４．目標・報告
５．運用

■本文

1. 前文

大豆は食用油に加え、バイオディーゼル燃料、家畜の飼料など食用以外の用途でも広く利用され、我々の生活に欠かせない油糧種子であり、当社の事業活動を支える重要な原材料のひとつです。

J-オイルミルズグループは、「人権方針」「サステナブル調達方針・調達基準」に基づき、ステークホルダーの皆様と協働して、原料の原産国の環境保全に配慮するとともに、人権の尊重に取り組みます。2022 年 8 月に責任ある大豆に関する円卓会議（RTRS*1）に加盟しました。食を支える企業として、安定的な大豆の調達、製品供給の社会的責任を果たすため、持続可能な大豆の調達を実現します。

2. コミットメント

J-オイルミルズグループは、以下のコミットメントを定めます。

2-1 森林破壊

・保護価値の高い（HCV*2）森林の破壊に加担しません。

2-2 生物多様性

・生物多様性の保全に配慮します。

2-３ 気候変動

・ステークホルダーの皆様と協働し、既存事業からの温室効果ガス排出量を段階的に削減します。

2-４ 人権尊重

・国際規範に基づいて行動し、先住民、地域住民、労働者の権利を侵害しません。

2-5 法令遵守

・事業を展開する国や地域の法令及び国際法令を遵守します。

3. 方針

大豆の生産国におけるサプライチェーンの実態調査に継続的に取り組むとともに、RTRS 等の認証機関と連携し、認証大豆の調達にも取り組みます。J-オイルミルズグループは、コミットメントに則り、大豆の調達方針を定め、透明で責任ある大豆の調達を目指します。

4. 目標・報告

安定的な大豆の調達、製品供給の社会的責任を果たすため、トレーサビリティの向上を目指し、アクションプランを策定し、持続可能な大豆の調達に取り組みます。

5. 運用

サプライヤーおよび関連するステークホルダーと協働し、本方針に則した取組みを実行します。

本方針は社会状況の変化等に応じて改訂いたします。

以上

---

*1 RTRS: Round Table on Responsible Soy Association (責任ある大豆に関する円卓会議)
https://responsiblesoy.org/?lang=en

*2 HCV(High Conservation Values)　「保護価値の高い森林」について
https://hcvnetwork.org/